

アフリカの食糧問題と WFP の活動

名古屋大学にて (2001 年 12 月 8 日)

WFP (国連世界食糧計画) 松村裕幸



Hunger Map

- 世界総人口60億人(内発展途上国44億人)の内8億人が飢えている。世界の約7人に1人、発展途上国のほぼ5人に1人が飢えていることとなる。極度の栄養失調に苦しむ国27ヶ国、其のうちの21カ国がアフリカに集中している。

世界の飢餓人口

- 1970年代：約40.7億人の内、約9.2億人が栄養不足 5人弱に1人
東アジア：食糧不足人口全体の53%
サハラ以南のアフリカ：11%
- 1980年代：約48.3億人の内、約9億人が栄養不足 5人強に1人
東アジア：全体の42%
サハラ以南のアフリカ：17%
- 1990・2000年：約60億人の内、約8億人、7人に1人
東アジア：全体の32%
サハラ以南のアフリカ：全体の26%
- 2010年予想：約70億人の内、約7億人、10人に1人
東アジア：全体の18%
サハラ以南のアフリカ：全体の38%

アフリカの農業の位置

- 全体の雇用の70% ● 全輸出の20% ● アフリカ全体GDPの34%
農村部に貧困の約70%が集中し、農業生産に従事
灌漑率：約6%(アジア35%)

New African Initiative

(ルサカ 2001年7月)

- 農業の生産性を挙げることに
- 食糧安全保障を確保し、食糧にAccessすること及びより良い栄養を取れるように改善すること。
- 自然資源の低下に対する対策を講じ、生態学的に「持続可能」な生産方法を促進すること
- 農村部の貧困者を市場経済に取り込み、輸出市場へのAccessを与えること
- アフリカを農産品の輸出国に転換すること
- 農業に対する調査し、技術の発展をもたらすこと

アフリカの農業・食糧問題の本質

- 戦争(クーデター・国内・地域紛争)
- 1999年54カ国のうち14カ国
- 地雷(アンゴラ世界最大の地雷敷設国、エリトリア、モザンビーク、等)
- 難民
- 鉱物資源問題(世界の30%、ダイヤモンド51%、金47%、希少金属)
- 民族問題(約1000に近い民族と言語)
- 宗教問題
- 気象変動と増加する自然災害(森林伐採)
- 水不足
- 換金作物
- 植民地時代の負の遺産
- 国の失政
- 教育問題
- Gender問題
- 衛生問題
- HIV/AIDS
(15~25歳HIV感染者・AIDS患者の比率が高い世界10カ国すべてアフリカ；ボツワナ女子34%男子16%、レソト女子25%男子12%、南アフリカ女子25%男子11%、ジンバブエ女子25%男子11%)
- 情報・統計の不足及び不備

WFPの対応

- 先ず食べさせる(緊急援助)
- 栄養改善(栄養失調児)
- 教育(学校給食)
- HIV感染者AIDS患者の家族に対する援助(貧困対策)
- Food-for-Work(植林、灌漑、土壌改良)

WFPの食糧援助受益国Ranking(1997～2000)

- 1997： ルワンダ、北朝鮮、エチオピア、バンドラデシユ、アンゴラ
- 1998： スーダン、北朝鮮、ルワンダ、インドネシア、エチオピア
- 1999年： 北朝鮮、スーダン、ユーゴスラビア、アンゴラ、ルワンダ
- 2000年： エチオピア、北朝鮮、ケニア、アンゴラ、スーダン